

平成30年第4回市議会定例会 一般質問通告概要一覧

日 時	人 数
平成30年12月17日 (月) 午前10時～	7人 (1番から 7番まで)
平成30年12月18日 (火) 午前10時～	5人 (8番から 12番まで)

質 問 位 順 位	議 席 号 番 号	会 派 名	通 告 者 氏 名	抽 選 号 番 号	種 別
1番	11	公 明 党	阿 部 正 幸	2	一問一答
2番	8	日 本 共 産 党	藤 原 益 栄	3	一問一答
3番	1	日 本 共 産 党	中 田 定 行	4	一問一答
4番	7	自 由 民 主 党	米 澤 ま き 子	5	一問一答
5番	14	民 政 ク ラ ブ	雨 森 修 一	6	総括質問
6番	3	自 由 民 主 党	佐 藤 雅 博	8	総括質問
7番	16	市 民 ク ラ ブ	昌 浦 泰 己	9	一問一答
8番	9	日 本 共 産 党	佐 藤 恵 子	10	総括質問
9番	15	自 由 民 主 党	吉 田 瑞 生	11	総括質問
10番	12	公 明 党	齋 藤 裕 子	12	一問一答
11番	2	日 本 共 産 党	戸 津 川 晴 美	14	一問一答
12番	13	公 明 党	根 本 朝 栄	18	一問一答

計 12 名

総括質問方式： 4 名  
一問一答方式： 8 名



質問順	受付月日	12.4	通告者	11番	阿部正幸	
1番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p><b>1. 地域防災リーダーの育成について</b></p> <p>全国的に大規模な自然災害が頻発し、激甚化している中で、地域防災リーダーの役割はとても重要です。</p> <p>災害からの被害を最小限にとどめる地域防災力の担い手となっているのが防災士です。防災啓発活動に防災士の活躍が期待されているため、防災士資格取得について助成金を交付している自治体もあります。</p> <p>また、宮城県では防災指導員養成講習及びフォローアップ講習を開催しています。</p> <p>本市における地域防災リーダーの育成と今後の活用について伺います。</p>						

質問順	受付月日	12.5	通告者	8番	藤原益栄
2番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p><b>1. 七北田川・砂押川の現況と河川改修の促進について</b></p> <p>県のホームページ上に、昨年2月に策定された「二級河川七北田川水系河川整備計画（素案）」、「二級河川砂押川水系河川整備計画（素案）」がアップされており、県の担当課によれば間もなく本決定の予定のようである。策定にあたり本市からも意見を求められたと考えるが、以下の点につき問う。</p> <p>(1) 七北田川について</p> <p>本市が直接七北田川に接している区間が含まれる、河口より2.1kmから17.0km区間の必要な改修について、（素案）は「堤防嵩上げ、高水敷切り下げ」（p37）としており、河道の断面積が足りないことを認めている。（素案）について市はどのような意見を提出したか。</p> <p>(2) 砂押川について</p> <p>① 以前、市当局から、「砂押川遊水地の越流堤は完成していない」との説明があったが、（素案）で県は砂押川遊水地の改修については言及していない。現状について再度説明されたい。</p> <p>② 砂押川の「主な洪水被害」について、（素案）には昭和61年8月5日の「台風10号災害」いわゆる「8.5水害」の記述がない（p16）。一市民として強い違和感を持つが、この点について意見はあげたか。</p> <p>③ 県は、砂押川の河川改修の必要性について、河口より4.8km（樋ノ口橋付近）から9.9km（沢乙付近）までの5.1kmについては「築堤、河床掘削、高水敷切り下げ、護岸整備」とし、勿来川遊水地については「掘削13.6万㎡」としている。市として改修の促進のためにどのような働きかけをしているか。</p>					

質問順	受付月日	12.5	通告者	1番	中田定行
3番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別
					一問一答
<p>1. 高すぎる国保税を引き下げ、子育て世帯や高齢者半額に。</p> <p>まずは、子育て支援の意味からも子どもの均等割減免制度の実現を。</p> <p>(1) 国民健康保険の構造的危機への抜本的対応は、国による公費投入などを待たなければなりません。全国知事会が国に要求している1兆円の公費投入の実現に向けて、市長の一層の尽力をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。</p> <p>(2) 前回の一般質問でもお伺いしたのですが、子育て支援の意味からも均等割の減免制度を多賀城市独自で実施してほしいのですが、今の市長の考えをお聞かせください。</p> <p>2. 命の水をどう守るか。水道事業の民営化をどう思うか。</p> <p>水道法の改正が行われ、水道事業の広域化や運営権の民間企業への売却（コンセッション方式）が推進されます。</p> <p>(1) 世界では水道事業民営化の失敗から、再公営化の動きが加速し、新たな市場として水メジャーが日本の水道事業を狙っているという状況下において、世界の民営化の失敗から学ぶことなくコンセッション方式を導入し、公共財である水を、企業の利益の対象にするということをどう考えますか。</p> <p>(2) 今必要なことは、地域に人材を確保し、技術を継承し、地域の水を地域に責任をもって届けることだと思いますが、いかがですか。</p>					

質問順	受付月日	12. 4	通告者	7番	米澤 まき子
4番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p><b>1. 働き方改革に伴う「イクボス宣言」について</b></p> <p>かつては、育児・介護は女性が中心に担ってきましたが、共働き家庭が増え、最近では育児を分担している男性も少なくありません。高齢の親を抱える職員も増えていると思います。子育て世代などの転入世帯が進む中で、市職員の子育て世代と介護に時間を取りやすくするという職場環境づくりの必要性があると思います。</p> <p>多賀城市役所として「イクボス宣言」をし、人口減少・超高齢化社会で働く職員を支えていくことを推し進めていくべきと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p><b>2. 父親の「一日保育士体験」事業について</b></p> <p>平成21年度に埼玉県からスタートした「一日保育士体験」事業は、子ども達を真ん中においた保護者と保育士が共に育ちあう関係性を築くものとした目的があります。導入に踏み切った園では、なによりも嬉しかったのは、保護者の子どもへの理解と園への感謝の言葉が多かったこと、さらには、父親の子に対する関わりに変化をもたらしたと伺っております。育ちが実感できるこの体験事業、実施すべきと考えますがいかがでしょうか。</p> <p><b>3. 「香害と化学物質過敏症」への対策について</b></p> <p>「香害」とは、香り付きの商品の成分による健康被害を意味する新語です。香料などの「揮発性物質」を吸い込むと健康に影響が出ます。さらに影響が大きいとされるのが、化学物質過敏症で、少量ずつ蓄積していても、ふとしたキッカケで突然発症する場合があります。化学物質過敏症を引き起こす香り成分は特定に至っておらず、人工的な香りが健康被害をもたらす可能性があり、市民の皆様への健康被害の周知が環境を守ることに繋がるため、啓発と化学物質過敏症という病気の認知が必要であると考えます。市庁舎をはじめとする市内各公共施設においても周知を図っていただき、また、学校現場でも教職員、児童生徒、保護者の方々にも香り成分の関係性を知っていただき、香害を生まない配慮を広めていただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>					

質問順	受付月日	12.5	通告者	14番	雨森修一
5番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別
総括					
<p><b>1. 多賀城郵便局の移転について</b></p> <p>平成28年第2回定例会において一般質問いたしました。多賀城郵便局は特に留ヶ谷、旭ヶ岡、中央、高崎地区等の利用者も多く、安全性、利便性を図るためにも、多賀城郵便局の移転を日本郵便株式会社に訴えていただくよう市長に質問いたしました。</p> <p>市側では、日本郵便株式会社から移転先選定に関して相談や問い合わせがあった際には、市として柔軟に対応したい考えであると伺いました。私は、日本郵便株式会社東北支社からの案内により、平成29年1月16日東京都千代田区霞が関、日本郵便株式会社本社を訪問し、チャネル企画部担当部長、課長、担当者に面談し、多賀城郵便局の現状を説明いたしました。多賀城新庁舎に郵便局を設けていただくよう訴え続け今日に至っております。</p> <p>ぜひ新庁舎内に入れる計画を進めていただきたく市長にお願いするものであります。お考えを伺います。</p>					

質問順	受付月日	12.4	通告者	3番	佐藤雅博
6番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p><b>1. 市民の安全・安心を守る交通指導隊、消防団活動について</b></p> <p>交通指導隊、消防団は、地域の代表として、安全、安心な市民生活を送れるよう、ボランティア精神で先人の教えを順守し活動しています。</p> <p>東日本大震災発生後の復旧、復興において先陣を切って様々な活動に精力的に取り組んできました。その姿は鮮明に記憶しております。2019年は震災から8年が経過し、今現在は隊員、団員の入れ替えもあり、活動状況にも変化が生じ、それぞれに課題をかかえる状況にあると危惧することから、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 震災後の交通指導隊、消防団の活性化と、交通指導隊の定年制延長について伺います。</p> <p>(2) 震災前の火災発生時、各分団は多賀城全域に出動し活動していたが、現在の出動範囲は風水害を含め、どの様になっているのか伺います。</p> <p>(3) 現在、消防団活動のための資機材、貸与品など経年劣化している装備の対応について伺います。</p> <p>(4) 7月に宮城県消防操法大会が栗原市で開催され、多賀城市消防団も出場し、上位の成績を収めました。今回の訓練、結果から、一連の成果を今後消防団活動にどの様に活かしていくのか伺います。</p>					

質問順	受付月日	12.5	通告者	16番	昌浦泰己
7番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p><b>1. スケートボード場の設置について</b></p> <p>若者に人気がありながら、練習場が満足に無いために競技人口が増えないスポーツにスケートボードが有ります。幼児の頃から競技に慣れ親しむ環境を整えさえすれば、将来その中からオリンピック選手が出る可能性も有ります。また、私が適地と考え、後に述べる用地は多賀城創建1300年関連で建設が予定されている多賀城南門にも近く、多賀城跡あやめまつりのような期間限定のイベントと違い、通年で利用者が通って来て、観光や交流人口増にも一役買う、中央公園内の有料サッカー場北側の駐車場スペースをスケートボード場にしてはどうでしょうか。</p>					

質問順	受付月日	12. 5	通告者	9番	佐藤 恵子
8番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p><b>1. 高齢単身世帯の見守り、孤独死対策について</b></p> <p>(1) 高齢単身世帯の割合が高い災害公営住宅での孤独死を防ぐために、見守りサービス、活動支援等総合的なマニュアルを作成し、市として本腰をいれて取り組まれない。</p> <p>(2) 見守りの方法の一つとして、緊急通報装置だけでなく、必要な機器の設置などによる安否確認の体制も強化されたい。</p> <p>(3) これらの対策を市内に必要な単身高齢世帯に対しても進められたい。</p> <p><b>2. 宮内地域の資源回収置き場の粉じん、騒音等の問題について</b></p> <p>(1) 資源回収業者が違法な作業を行わないように、県と合同で作業実態を日常的に監視していくこと。</p> <p>(2) 粉じん等に含まれている物質の調査、騒音の測定を市独自に実施し、それに基づいて必要な是正措置を行うこと。</p> <p>(3) 休日は操業しないように強く業者に要請すること。</p>					

質問順	受付月日	12. 4	通告者	15番	吉田 瑞生
9番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p><b>1. 来年5月1日の新天皇即位に伴う改元、新元号に対応する多賀城市役所のシステム改修などについて</b></p> <p>皇太子さまの即位に伴う改元による、多賀城市役所のシステム改修などについて、各部署が連携して準備を適切に進める対処方法について</p> <p><b>2. 東田中2丁目地内の市道舟橋街路一号線と山崎五号線の道路改良整備について</b></p> <p>(1) 舟橋街路一号線のJR用地に接する、市道東田中八幡線の交差地(旧東田中踏切)から志引団地七号線の交差地(旧志引踏切)までの間、約400メートルの未利用未整備の道路用地を整備して、側溝の設置、歩道の整備、路側帯の標示・雨水排水路整備など、舗装改良整備をすることについて</p> <p>(2) 山崎四号線の起点から駅西小路線の起点に至る間の山崎五号線約100メートルの区間、雨水が排水されず雨天時に滞留が常態化している道路の改良整備について</p>					

質問順	受付月日	12. 4	通告者	12番	齋藤裕子	
10番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答

#### 1. 女性特有のがん検診の受診率向上について

近年、女性特有のがんである「乳がん」と「子宮頸がん」は罹患者が若い世代にも多くなっています。がんは、早期発見・早期治療によって治る可能性が高く、がん検診の有効性は、科学的にも証明されており、定期的を受診することが大切です。そこで、がん検診の受診率向上のために更に力を入れるべきと考えます。本市の女性特有のがん検診受診率と更なる受診率向上への取り組みの考えを伺います。

#### 2. がん患者のアピランスケアの助成事業と支援体制について

がんの手術や抗がん剤、放射線治療により、皮膚や爪の変色、傷痕や脱毛といった外見の変化が生じます。がん患者にとって、治療前と異なる自分の容姿は社会復帰をする上でも大きな障害となり、苦勞されている方がいます。抗がん剤の副作用で脱毛に悩む人が使うウィッグや、乳がんの手術痕の形を整える下着や胸部の補整具など費用がかかることから、負担が大きいウィッグなどの購入費用の助成と、アピランスケア支援に取り組むべきと考えます。本市の見解を伺います。

#### 3. コミュニケーション支援ボードの導入について

コミュニケーション支援ボードは、障がいのある方との意思の疎通が出来ない時に、ボードに記載されたイラストや言葉を、指差しでコミュニケーションが図れる様に開発されたツールです。耳の不自由な方、子どもや高齢の方、外国人など、言葉でうまく伝え合えない場面で活用できます。そこで、合理的配慮の観点からも、各課相談窓口や、災害時などに活用すべきと考えます。コミュニケーション支援ボード導入について本市の見解を伺います。

#### 4. 子育て応援祖父母手帳等の作成について

充実した子育て環境には、親に加え、祖父母世代の育児の支えが家庭や地域においても必要と考えます。育児の方法や考え方が祖父母世代が育児をしていた時代から価値観など大きく変化していることから、子育て中の父母と祖父母が良好な関わり合いが出来る様に、「孫育て」のヒントや情報を掲載した冊子を配布する自治体が増えています。そこで、本市でも子育て世代間の理解を深め、孫育児に向き合えるように、「祖父母手帳」の作成をしてはどうか、見解

を伺います。また、併せて父親向けの育児手帳等の作成についての本市の見解を伺います。

質問順	受付月日	12.5	通告者	2番	戸津川 晴美	
11番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	一問一答
<b>1. 学校給食費の負担軽減と給食指導について</b>						
(1) 給食費の負担軽減について						
全国的に給食費の無償化及び一部補助の動きが広がっています。そこで、以下3点について伺います。						
① このような保護者負担の軽減策は、子育て支援の拡充策として有効であると思いますが、いかがですか。						
② 学校給食法との関連においても、何ら問題ないと考えますが、いかがですか。						
③ 今後、何らかの形で、負担軽減策を検討していただきたいと思いますが、いかがですか。						
(2) 給食の完食指導のいきすぎが、不登校などの要因になることもあります。完食の強制は、あってはならないと思いますが、いかがですか。						
<b>2. 放課後等デイサービスについて</b>						
障がいのある子どもの療育の場でもある放課後等デイサービスの報酬改定に伴い、以下2点について伺います。						
(1) 市が行う該当児の判定にあたっては、保護者の聞き取りや事業者等の情報を活用し、慎重に進めるべきであると思いますが、いかがですか。						
(2) 国に対し、報酬改定の影響把握及び前年同水準の報酬維持を求めていると思いますが、いかがですか。						
<b>3. 女川原発の再稼働について</b>						
女川原発2号機は、2020年以降の再稼働をめざしているようですが、再稼働に対する市長の所見を伺います。また、再稼働の是非を問う県民投票については、どのようにお考えですか。						

質問順	受付月日	12.4	通告者	13番	根本朝榮
12番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別
					一問一答

### 1. 道の駅構想について

これまでは、多賀城駅前を中心とした土地区画整理事業や連続立体交差事業、再開発事業等により駅前周辺に活気と賑わいを創出することができており、まちづくりの一定の成果が表れています。

これからは、南門復元が着手されることに伴い、本市の魅力が一段と高まり多くの来訪者が想定されることから、観光振興にも力を入れていかなければなりません。また、グルメブランド「しろのむらさき」や地元農産物などの販売拠点・経済活動拠点として「道の駅」は大変重要であることから、下記の4点について伺います。

(1) 南門が復元されると、多くの観光客が来訪されると思いますが、その来訪者へのおもてなし施設として「道の駅構想」を具体的に打ち出してはいかがですか。

また、第6次多賀城市総合計画に「南門の復元と道の駅建設」を重点プロジェクト事業と位置付けし、明記してはいかがですか。

(2) 来年4月に開設される角田市の道の駅は、平成25年5月に「道の駅整備基本構想」を策定し、平成27年3月に「道の駅整備基本計画」を策定、平成28年3月に「道の駅整備実施計画」を策定して現在に至っていますが、本市と相通ずるところもあることから、参考にしてはいかがですか。

(3) 市長は所信表明の中で、「観光物産施設につきましては、・・・行政が担うこと、民間の皆様委ねることなど、役割を明確にしたうえで支援してまいります」と述べられています。

道の駅は市が主導して推進しないと難しいように思いますが、具体的にどのように推進されるのか伺います。

(4) 道の駅の建設場所について、南門の西側の古代米を作っている田園地帯は南門のすぐ近くにあり、インターチェンジからも近いことから、場所としては最も適切と思います。

文化庁においても文化財の保存と活用を推進されていることから、可能かどうか、当該場所の検討をしてはいかがですか。